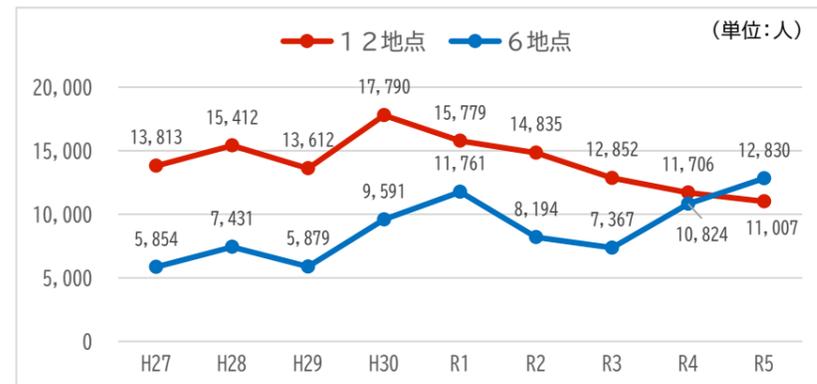


4 第3期（前期）計画の総括

基本的な方針	中心市街地活性化の目標	目標指標	前期基準値 (H29~30平均)	前期目標値 (R6)	最新値 (R5)	評価
中心市街地のコミュニティの醸成による安全・安心のまちづくり	目標① 定住人口の増加	中心市街地における社会増減数(人)	-58人	+19人	+3人 (R2~R5平均)	未達
		(参考指標) 中心市街地における定住人口(人)	2,872人	3,006人	2,723人	未達
地域の資源を活かした歩きたくなるまちづくり	目標② 交流人口の増加	2施設※の利用者数(人/年)	1,369,912人	1,469,603人	1,576,973人	達成
		歩行者・自転車通行量(人) (12地点)	17,790人	19,748人	11,007人	未達
		(参考指標) 中心市街地回遊率(%)	36.1%	45.0%	32.1%	未達
地域の活力・市民の息づかいが見えるまちづくり	目標③ 市民活動参加者数の増加	市民交流施設4施設※の利用者数(人/年)	153,429人	182,315人	220,937人	達成

※2施設:石ノ森萬画館、いしのまき元気いちば ※市民交流4施設:あいプラザ・石巻、旧観慶丸商店、かわまち交流センター、アイトピアホール

【歩行者通行量の状況】:街なかは減少傾向で、川沿いエリアが上昇傾向

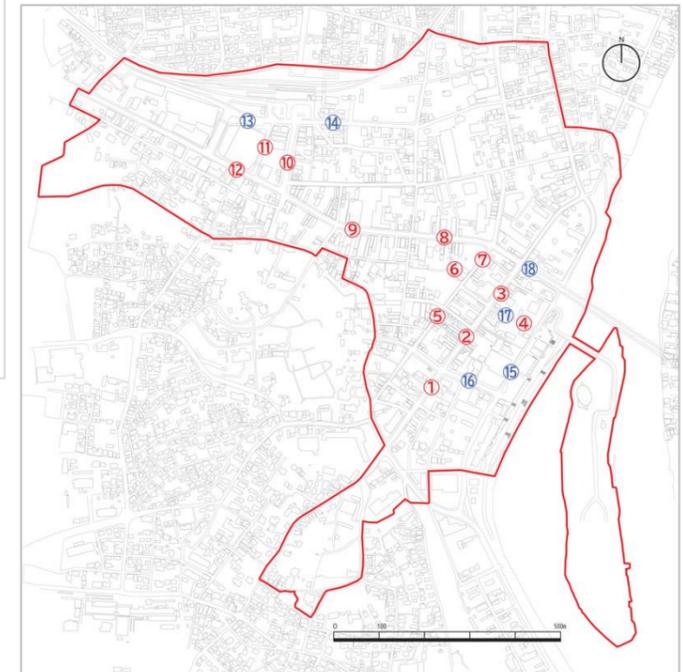


【遊休不動産の状況】:街なかの約3割が低未利用土地 (単位:ha)



(調査協力:東北大学都市マネジメント学研究室)

■歩行者通行量調査位置(○:12地点/●:6地点)



5 第4期計画で目指す中心市街地の都市像

街なかの魅力を活かし様々なチャレンジが生まれ、安心して楽しく回遊できるまち

歴史・文化・川湊といった石巻の中心市街地にしかない魅力を活かし、市民や観光客の目的地となる店舗や居場所を増やすことで、多くの賑わいが生まれ、街なかならではの魅力が感じられ、誰にとっても居心地がよい歩きたくなる楽しいまちを目指します。



主要な事業の概要

街なか出店サポート事業
中心市街地の空き地・空き店舗等の調査・整理を実施するとともに、中心市街地内の出店を検討している事業者への不動産情報の提供や事業計画立案支援を行う窓口として(仮称)街なか出店サポートセンターを設け運営する。

文化通り再生事業
かつて映画館などが立ち並んだ通りに、民間事業者による連鎖的リノベーションによって拠点を整備することで、新たなカルチャーをテーマとした賑わいを生み出す。

石巻市かわまち交流拠点施設管理運営事業
石巻市かわまち交流センター等を指定管理により運営し、観光ハブ機能を有し、市民や観光客が気軽に利用できるスペースとして、サロン・ミーティングスペース等の利用開放や、観光情報案内、イベントの開催等を行う。

街なか居場所づくり事業
遊休不動産や既存施設の空きスペース等を活用することにより、高校生や大学生などの若者世代、子育て世代の交流促進に資する空間の整備運用に向けて社会実験等を行いながら検討する。

中瀬公園利活用検討推進事業
中瀬公園を、民間事業者による営業活動や市民活動を中心に運営する手法について社会実験を重ねながら検討を行う。

石巻かわまちエリアプラットフォーム取組推進事業
未来ビジョンの実現に向けて、関係事業者が協議・情報共有を行い、市民へ広くまちづくりに関連する情報について発信する場を設ける。

1 第4期計画策定の背景

- 平成22年の第1期石巻市中心市街地活性化基本計画策定から3期にわたり、中心市街地を本市のコンパクトシティの中心拠点として投資を行い、安全安心なまちづくりを進めてきた。
- 第1期計画策定後に東日本大震災が発生したことで、震災復興のためのハード事業が主たる事業となっており、第3期計画において復興のためのハード事業は概ね完了したものの、中心市街地全体の賑わいの創出・回遊性向上の取組については充分とは言えない状況にある。
- 今後は産官学で連携を図りながら、これまで整備してきたハードを活かしたソフト事業に注力することで、中心市街地全体の賑わい創出や魅力ある街づくりを進めることが重要であることから、令和7年3月の「第4期石巻市中心市街地活性化基本計画」の内閣総理大臣認定を目指し、引き続き国の各種支援措置を活用しながらまちづくりを進めていく必要がある。

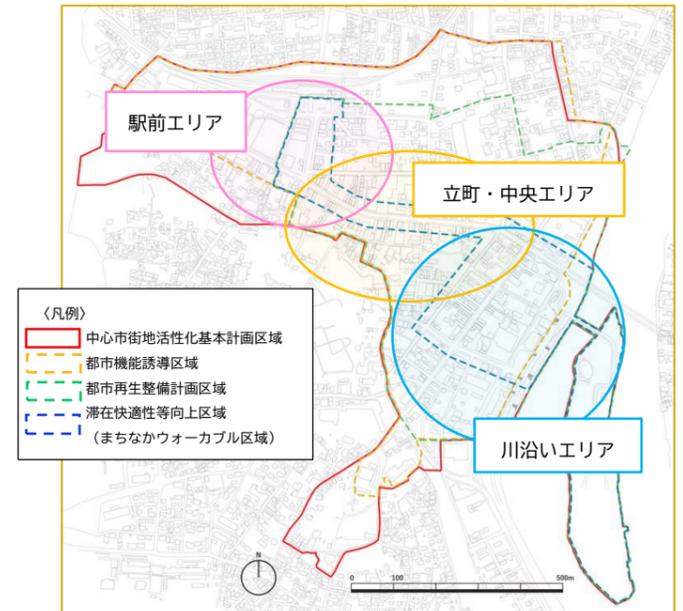
2 計画期間と計画区域

【計画期間】：令和7年度～令和11年度（5か年）

【計画区域】：約56.4ha

石巻市の玄関口であるJR石巻駅を含む直径1kmの徒歩圏区域であり、立地適正化計画に定める都市機能誘導区域（サービス拠点形成エリア）や都市再生整備計画区域と重複する区域で、中心市街地の活性化として必要な商業、行政、文化、交流、観光等の主要となる都市機能のつながりを考慮した区域とする。

（参考）計画区域内人口：2,723人（令和6年3月時点）



3 民間団体等へのヒアリング

●第3期計画掲載の全98事業についての成果や実施状況及び第4期計画策定に向けて中心市街地の現状と課題について以下のヒアリングを実施した。

- ・庁内各課ヒアリング（16課1室）
- ・民間団体ヒアリング（中心市街地を活動範囲に含むまちづくり関連事業者22団体※石巻専修大学含む）
- ・石巻市中心市街地活性化協議会での審議及び構成員30社へのアンケート
- ・市民意識調査
- ・子どもセンター「らいつ」まちづくり意見交換会（まきトーーーク）からの提案

主な意見

- ・空き地や空き店舗が増加し、商店街の魅力が感じられづらくなってきている。
- ・入居できる不動産が分かりづらかったり、支援機関が分散しておりチャレンジがしにくい。
- ・市民が気軽に立ち寄って休憩できるような居場所がない。
- ・川沿いの賑わいが中心市街地全体に波及していない。
- ・第4期計画策定においては、目標達成に結びつく事業の整理による掲載、実施が必要。

●市単独事業：全17事業

No	事業名	中心市街地 全域で取り組む事業
1	空き地・空き店舗活用助成金	○
3	石巻市定住促進住宅取得等補助金	○
4	中瀬公園整備事業	○
5	東中瀬橋整備事業	○
11	石巻市子どもセンター事業	○
12	ささえあいセンター活用事業	○
13	文化財ガイドボード等整備事業	○
14	石巻市かわまち交流拠点施設管理運営事業	○
15	石巻健康センター あいプラザ・石巻活用事業	○
17	老人福祉センター寿楽荘活用事業	○
18	旧親慶丸商店保存活用事業	○
19	石巻中央公民館管理運営事業	○
20	旧石巻ハリストス正教会教会堂活用事業	○
21	創業支援事業	○
24	地方創生ゲームアプリによる賑わい創出事業	○
25	中心市街地調査検証業務	○
27	石ノ森美術館実施事業	○

●官民連携事業：全17事業

No	事業名	中心市街地 全域で取り組む事業
2	街なか出店サポート事業	○
6	中瀬公園活用検討推進事業	○
8	街なか居場所づくり事業	○
9	街なかフィールドワーク等連携事業	○
10	マンガクリエイター支援事業	○
22	石巻マンガロード整備活用・発信事業	○
26	街なかイベント開催助成金	○
28	南浜エリアや各種団体と連携した街なかの周遊・滞在時間向上事業	○
29	かわまちエリアマネジメント事業	○
30	石巻かわまちエリアプラットフォーム取組推進事業	○
37	石巻の食発信事業	○
40	朝活・夜活プロジェクト	○
41	街なかインバウンド対応力向上事業	○
42	石巻観光案内センター運営事業	○
44	街なかアクセス向上事業	○
45	街なか滞在時間快適性向上事業	○
46	デジタルサイネージ管理・運用事業	○

●民間事業：全12事業

No	事業名	中心市街地 全域で取り組む事業
7	空き家・空き店舗リノベーション事業	○
16	まちなかコミュニティホール活用事業（旧生協）	○
23	石巻川開き祭り	○
31	文化通り再生事業	○
32	Reborn Art Festival	○
33	橋通り賑わい創出・再生事業	○
34	離島航路運営事業	○
35	猫を活かしたまちづくり	○
36	いしのまき元気いちば運営事業	○
38	街なか創業・事業継承支援事業	○
39	まちなか駐車券サービス事業	○
43	街なか魅力向上事業	○

